

平成27年8月7日



### 「国産材マーク」譲渡のご挨拶

全国木材組合連合会 会長

国産材マーク推進会 会長

吉条 良明

このたび、全国木材組合連合会が JAPIC（日本プロジェクト産業協会）より「国産材マーク」に関する商標権その他権利の譲渡を受けるとともに、「国産材マーク」推進会の事務局を引き継ぐこととなりました。

木材の利用は、人々の暮らし、地球環境の保全、そして森林・林業・木材産業の維持発展の観点からも、その拡大を進めていくことが重要であり、木材利用ポイント事業や公共建築物等の木造化の推進など、国及び地方自治体による施策の展開や多くの関係者のご努力により、木材利用に対する国民の皆様のご関心も大きく広がってきています。

まさに、木材利用の推進に強い追い風が吹いている状況です。

こうした追い風をしっかりとつかみ、5年後の東京五輪・パラリンピックでの木材利用や、住宅及び公共建築物のほか、商工業施設やオフィスビル、身近な家具や飲料容器等の日用品に至るまで、あらゆる分野への木材利用の拡大に取り組んでいく必要があると考えているところです。

特に、国内資源が充実し、地方創生等の観点からも国産材の利用拡大には大きな注目が集まっています。「国産材マーク」は、こうした国産材の利用促進を支援するための手段として、米田会長の下、スタートし、2年間で着実な成果を上げてきております。

今回の譲渡を機に、JAPICにより進めてこられた活動を引き継ぎつつ、今後の活動内容の検討を進め、新しいステージに向けて「国産材マーク」および国産材製品のより一層の普及促進に取り組んでいく所存です。

JAPIC 森林再生事業化委員会は、「国産材マーク」推進会の普及部会に残っていただき、今後とも力を合わせて「国産材マーク」普及に取り組んでまいります。

皆様には、引き続き国産材マークへのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。